



OSAKA CITY UNIVERSITY

2017年度 6期生
科学的思考論プレゼン資料

KJ法で導く問題解決

～仮説の発見から知識の体系化まで～



大阪市立大学商学部
宮川研究室

本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室の所属学生がゼミ用教材資料として作成したものです。本資料内には、事実ではなく仮説として設定された内容も含まれています。また、本研究室は、内容の正確性および完全性に責任を負うものではありません。これ以外の目的で使用すること、並びに無断で複製することを固くお断りします。

ご注意

本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室の所属学生がゼミ用教材資料として作成したものです。本資料内には、事実ではなく仮説として設定された内容も含まれています。また、本研究室は、内容の正確性および完全性に責任を負うものではありません。これ以外の目的で使用すること、並びに無断で複製することを固くお断りします。



本プレゼンの内容

1. 問題解決するためのKJ法
2. KJ法の実践と応用
3. まとめ





1.問題解決するためのKJ法

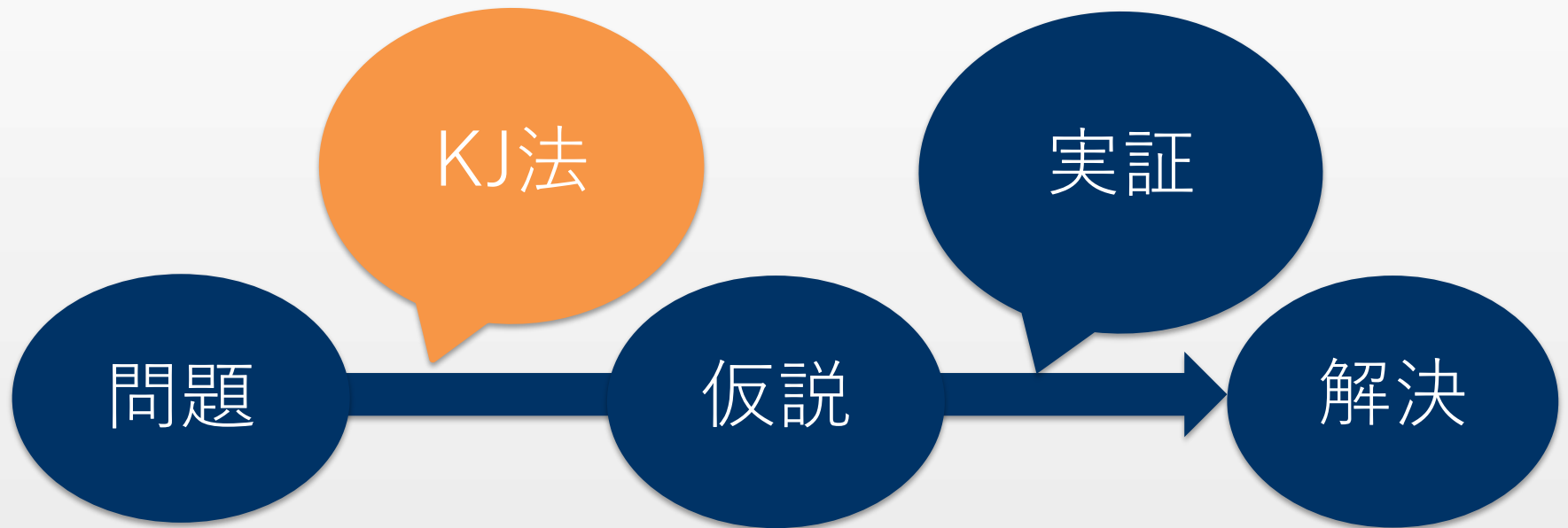


KJ法とは

問題解決の仮説を立てる手法のこと



問題解決の流れ



仮説を立てるためには

問題にかかわるアイデアと事実を
関連付ける必要がある



アイデアと事実とは

<例> 市大の全国的に知名度が低い理由

アイデア：出身者に有名人が少ない

事実：近畿圏外からの進学者が少ない

なぜKJ法を使うのか

アイデアと事実の相互関係を
見える化できる

KJ法の手順



KJ法の流れ

カード
作り

グルー
ピング

図解化

文章化

カード
作り

グルー
ピング

図解化

文章化

カード作りとは

アイデアと事実をカードに書き出す

アイデアと事実

<例> 市大の全国的に知名度が低い理由

アイデア：出身者に有名人が少ない

事実：近畿圏外からの進学者が少ない

カード作りの注意点

- 質より量

できるだけたくさんのアイデア、事実を集める

- 他人の考えを批判しない

一見ダメと思える考えでも受け入れる

- 具体的で簡潔な表現

瞬時に意味の分かる表現でカードに書き込む



カード
作り

グルー
ピング

図解化

文章化

グループ핑グの流れ

関連があると思われるカードを見つける

そのカードでグループを作る

できたグループの本質を見つける

その本質を表題にする



グループ핑グの注意点

- 10個程度のグループにする
- できたグループでグループを作っても良い
- グループに属さないカードがあっても良い

カード
作り

グルー
ピング

図解化

文章化

図解化の流れ

空間配置を考える

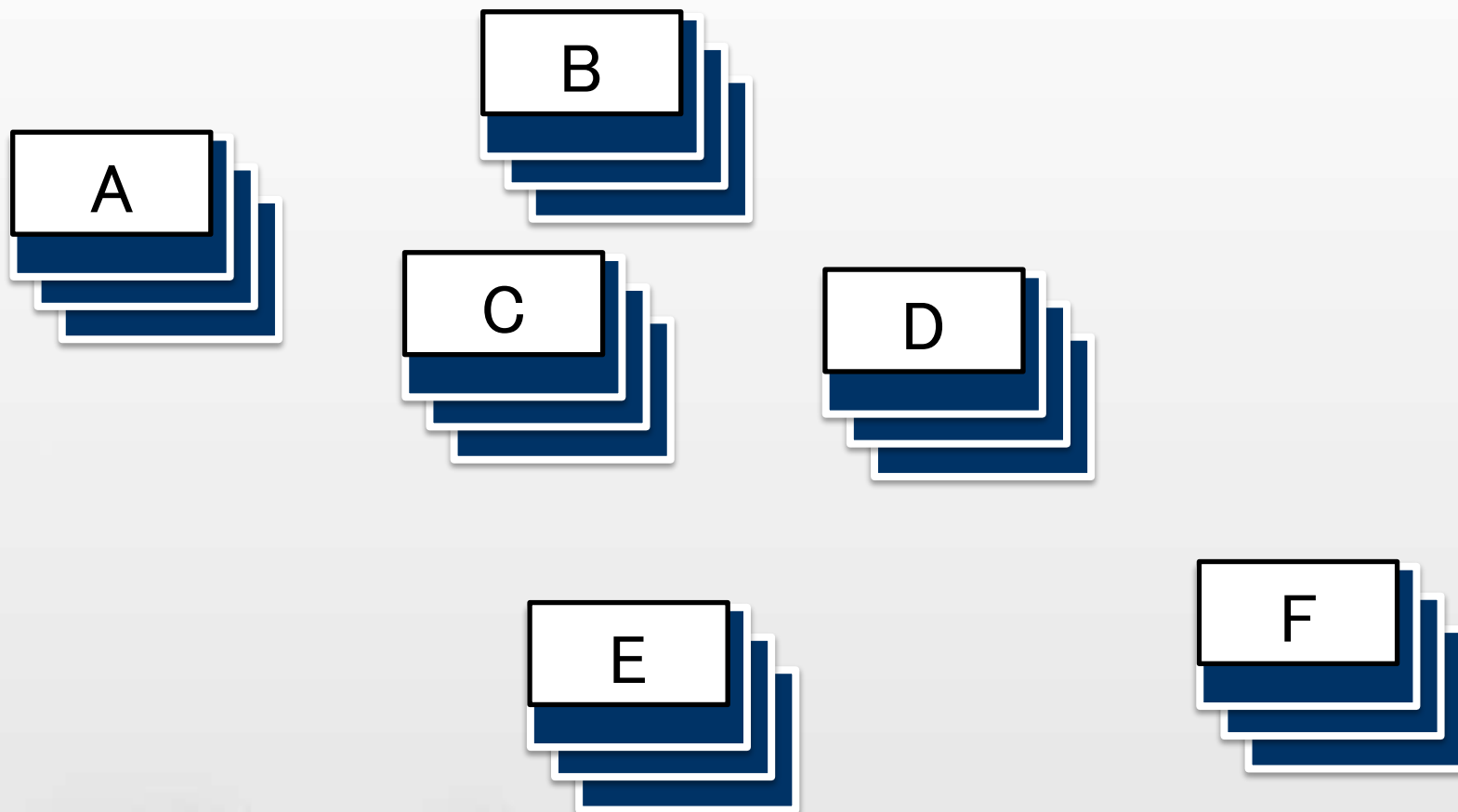
島を作る

島の本質を表題にする

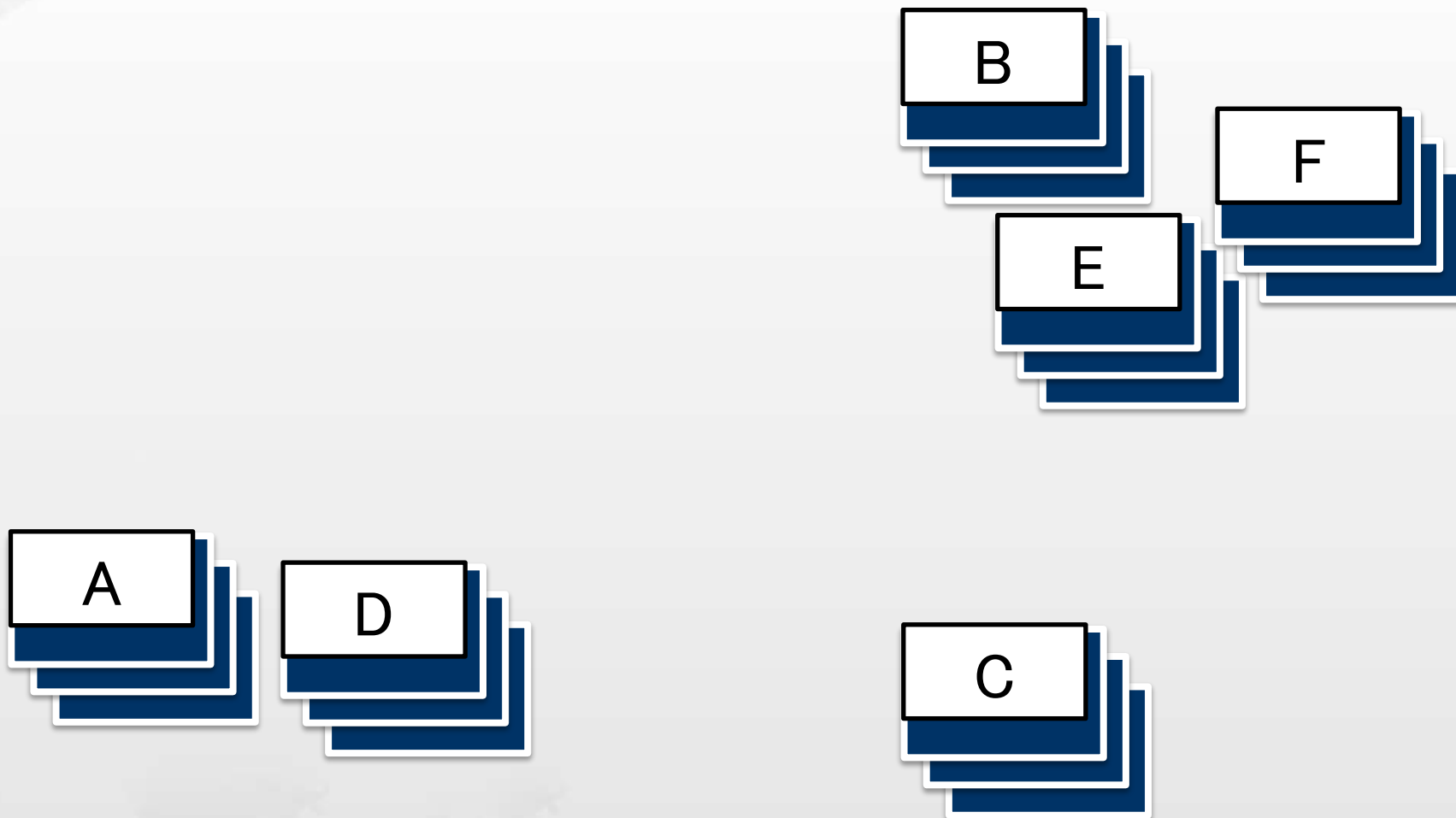
関連性を図に書き込む



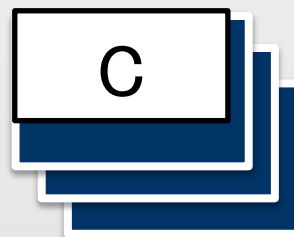
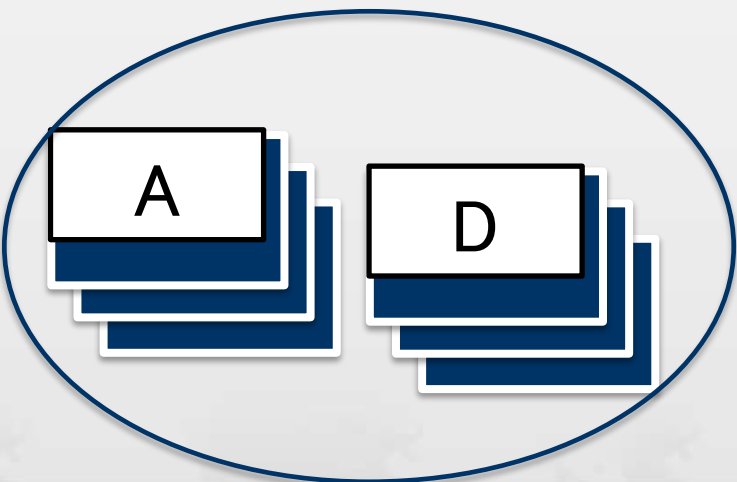
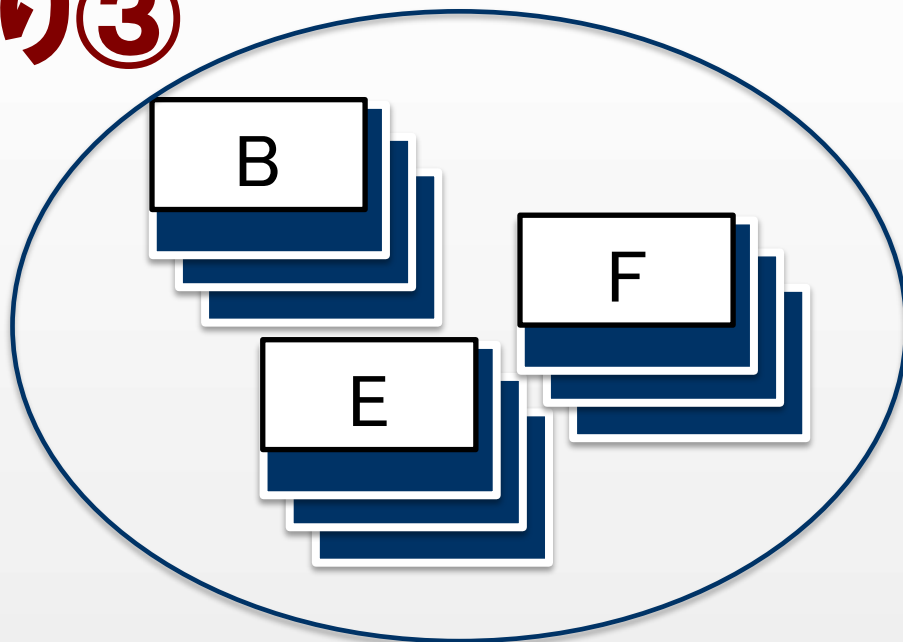
空間配置から島づくり①



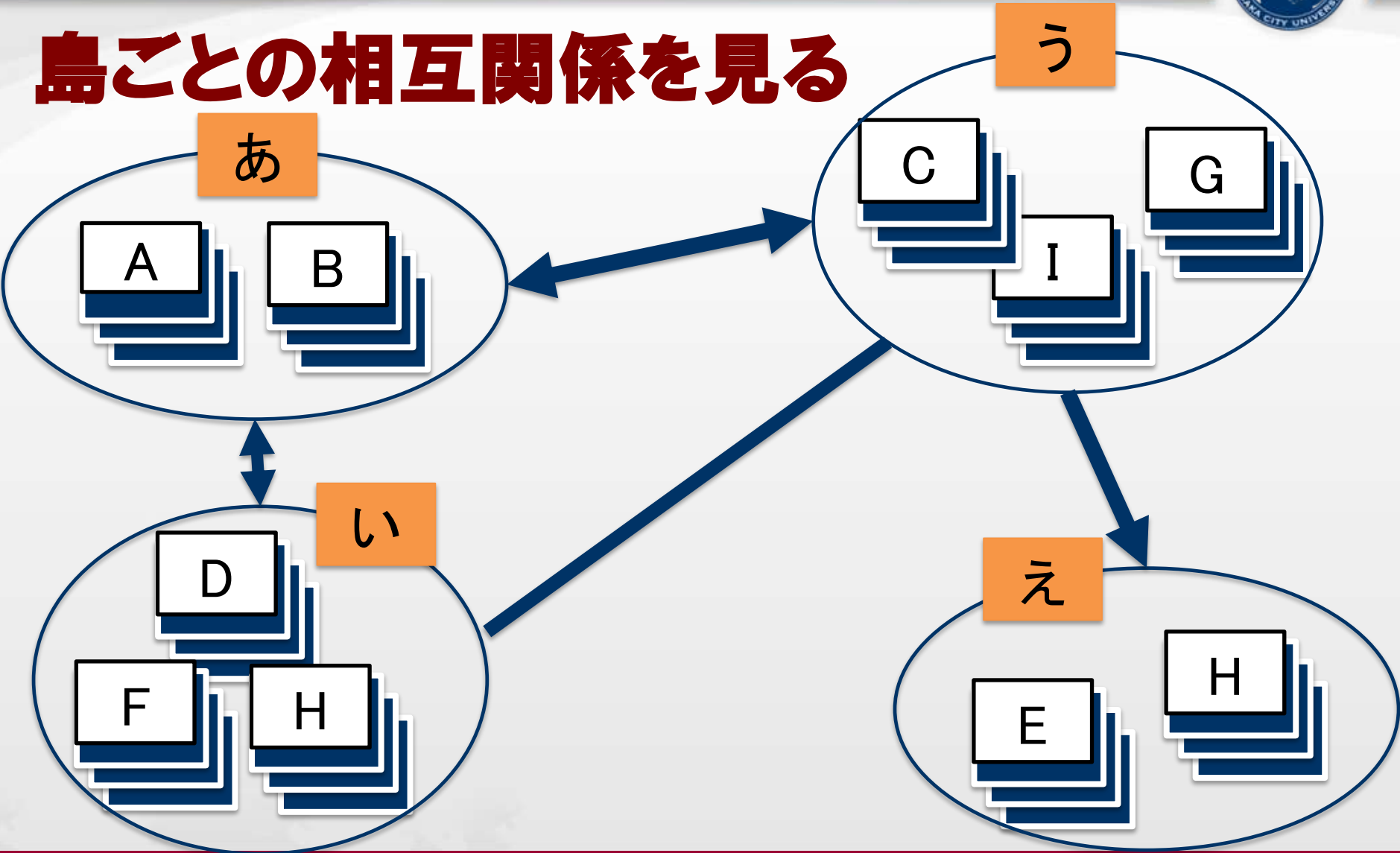
空間配置から島づくり②



空間配置から島づくり③



島ごとの相互関係を見る



図解化の注意点

- 1つのグループで島を作っても良い
- すべての島に関連があるとは限らない
- すべてのグループの本質を表した表題をつける

カード
作り

グルー
ピング

図解化

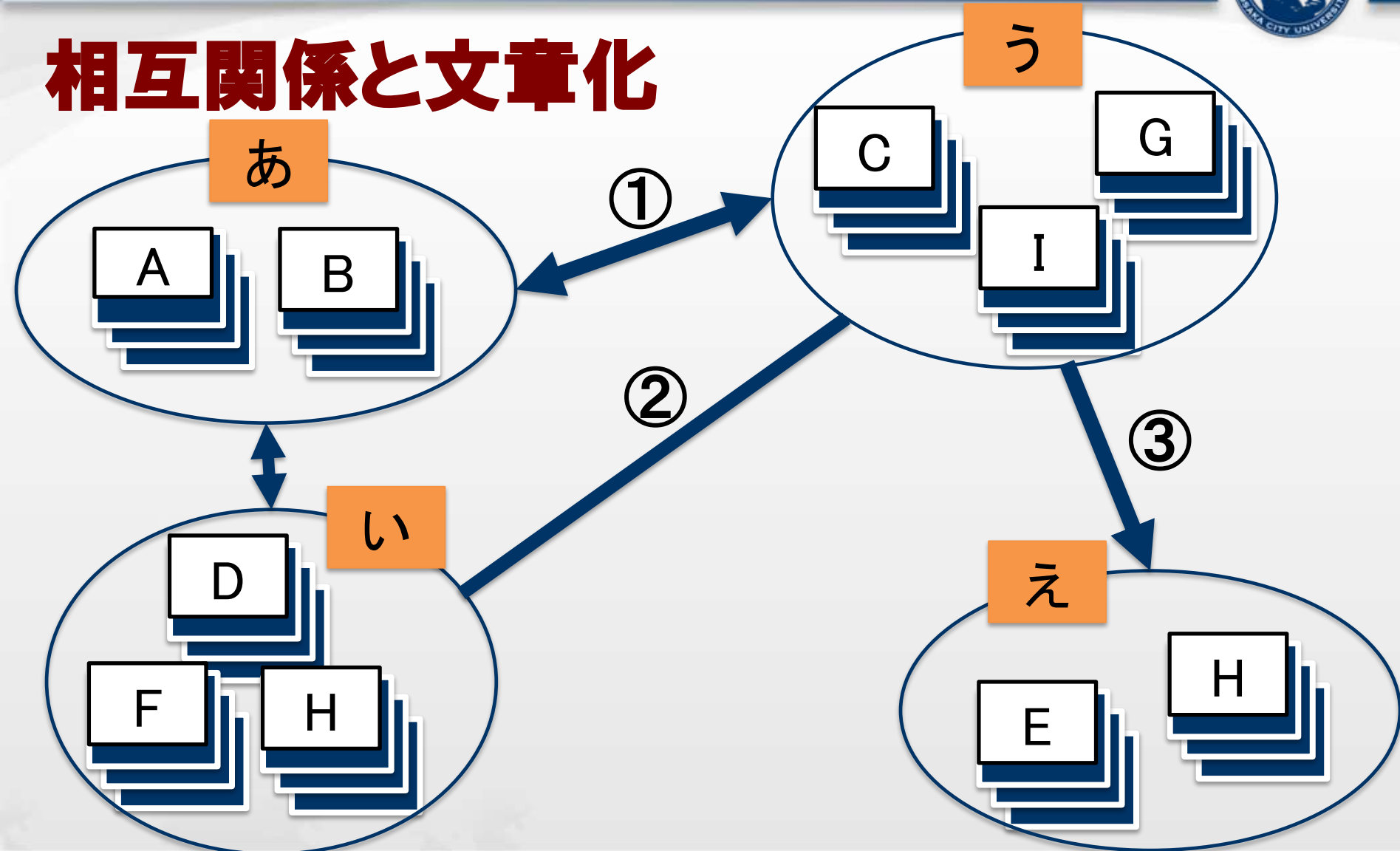
文章化

文章化の目的

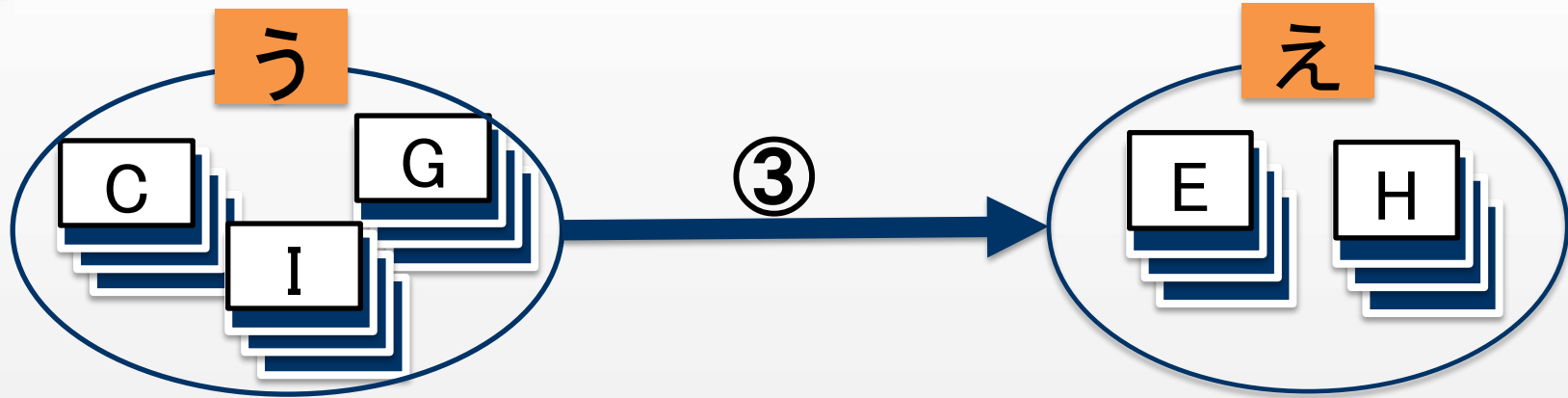
関係性を文章で表現する



相互関係と文章化



文章化とは



- やらなくてもいいことが多い → 時間的余裕がない
やらなくてもいいことが多いので時間がない



2.KJ法の実践と応用



カード作りとは

アイデアと事実をカードに書き出す

グループ핑グの流れ

関連があると思われるカードを見つける

そのカードでグループを作る

できたグループの本質を見つける

その本質を表題にする

図解化の流れ

空間配置を考える

島を作る

島の本質を表題にする

関連性を図に書き込む



立案された仮説

- 協力できる仲間を作る
- 早寝早起きをし生活リズムを正す



3.まとめ



KJ法を行ってみて



KJ法のデメリット

- 熟練度が必要
- データを集められる問題にしか対応できない
- 完成までに時間がかかる

KJ法のメリット

- データと意見の関係性を把握できる
- データと意見に重みづけができる

本プレゼンの限界



やってみないとわからない

- 感覚によって関連性は見つけられる
- 唯一絶対の仮説は見つからない
- KJ法の本当の良さは行ってこそ理解できる



ご清聴ありがとうございました

